

くすのき園での和棉畑の耕作について

大田区立くすのき園 園長 薄根 幸

<大田区立くすのき園 概略>

当施設は、障害者総合支援法における『就労継続支援B型 施設』です。

企業への就労や地域生活における自立を目指す方が利用する施設です。

身辺介助といった支援もありますが、作業を中心とした活動を通じて『社会人としての自覚』『他人との協調性』『働くことでの有用感・社会参加の意識』など、将来的な自立に向けた支援を行います。

- ◎定員 利用者70名（現員63名／職員20名（常勤職員15名）
- ◎開設 昭和63年4月20日
- ◎対象利用者 18歳以上の知的障害者の方で原則として自力通所可能な方
- ◎日課 月曜～金曜 9:00～16:00 作業・生活支援・クラブ活動等
- ◎作業種 : 木工・縫製
 軽作業・清掃（緑地・公園・公衆電話）・リサイクル(アルミ缶・新聞)

お願い

くすのき園における和棉畑の耕作の目的は、園芸クラブの活動の一環として、地域の皆さんとの交流や植物の育成過程の勉強、収穫の喜びなどを体験してもらうことです。このことをご理解のうえ、以下の点にご協力よろしく願いいたします。

※さまざまな支援を必要としている方が、くすのき園を利用されています。接しているなかで、迷うことやわからないこと等ありましたら、くすのき園の職員まで声をかけてください。

※夏場は、肌の露出を避け、丈が短くなく中の透けないシャツでお願いします。

※利用者個人が特定されるような情報の発信及び利用者の姿が写った写真の撮影は、個人情報となりますので、お断りしています。また、自身の連絡先・持ち物も含め、プライバシーに十分な配慮をして下さい。

※利用者には、「成人」という意識を持って接するようにしてください。(呼称・関わり方) 金銭のやり取りについては、ご遠慮ください。